

第一卷 現代編 I 目次

口 絵

まえがき

第二章 戸数 人口 …………… 三

第一章 政 治

第一節 明治維新と福島 …………… 二三

一 維新の変革と木曾の管轄の変遷 …………… 二三

二 版籍奉還と山村家 …………… 三三

(一) 版籍奉還と山村家の知行奉還願 …………… 三三

(二) 山村家の処遇 …………… 三四

(三) 山村家の屋敷取毀し …………… 四二

(四) 秩禄処分の実施と山村家の家臣 …………… 四六

1 秩禄処分の実施 …………… 四六

2 士族の生活 …………… 五七

## 三 明治の新政と四か村

## (一) 江戸時代の四か村

- |     |                   |               |
|-----|-------------------|---------------|
| 1   | 福島・岩郷 上田・黒川村の村勢概要 | 六二            |
| 2   | 地名考にみる江戸時代の四か村    | 七七            |
| (1) | 村の字名              | 七七            |
| (2) | 岩郷村地名考            | 八〇            |
|     | 村名のおこりと部落地名考      | 岩郷地名雑記        |
| (3) | 福島村地名考            | 九二            |
|     | 福島の地名のおこり         | 地名からみた江戸時代の福島 |
|     |                   | 福島の橋          |
| (4) | 黒川村地名考            | 一一三           |
|     | 村名のおこりと部落地名考      | 黒川地名雑記        |
| (5) | 上田村地名考            | 一二六           |
|     | 村名のおこりと部落地名考      | 上田地名雑記        |
| (6) | 福島と新開の地字          | 一三六           |
| (7) | 岩郷・黒川 上田の部落名と家名   | 一四一           |
|     | 部落の構成と家名          |               |
| (二) | 新しい村への胎動          | 一四九           |
| 1   | 戸籍区の設置と四か村        | 一四九           |
| 2   | 大区小区制への移行         | 一五七           |

第二節 福島村 新開村の成立と行政組織の整備

一 福島 新開両村の成立

- (一) 新しい村の誕生 ..... 一六二
- (二) 新村成立当時の村勢概要 ..... 一六七
- (三) 戸長と副戸長 ..... 一九四

二 三新法下の地方自治

- (一) 郡制と郡役所の設置 ..... 一九九
- (二) 戸長役場の設置 ..... 二〇六
- (三) 県会議員の選出と村会の開設 ..... 二一〇

1 県会議員の選出

2 村会の開設

(四) 聯合戸長役場の設置

三 地租改正と初期の村財政

- (一) 地租改正 ..... 二二三
- (二) 初期の村財政 ..... 二四一

四 学制と徴兵令

- (一) 学校教育の発足 ..... 二五三
- 1 学校の創立と元資金 ..... 二五三
- 2 学区取締と学校世話人 ..... 二六〇

3	各村学校の創立	二六八
	文忠学校	
	岩郷学校	
	黒川学校	
	上田学校	
(二)	徴兵令の発布	二九八
1	山村家の兵制	二九八
2	初期の徴兵制	三〇四
五	開産社	三〇七
六	初期の衛生行政	三一八
(一)	明治維新前後の衛生状態	三一八
(二)	木曾総管所と施薬院	三二二
(三)	筑摩県公立福島病院	三二五
	町村制施行以後の村政	三四二
第三節		
一	町村制施行と福島 新開両村の独立	三四二
二	行政機構の整備	三五三
(一)	町村制施行と福島村 新開村の新発足	三五三
(二)	村会の構成	三五六
(三)	村会議員の選挙	三五八
(四)	村長と助役の選挙	三六二
(五)	村役場の開庁と役場職員	三六六
(六)	区制と部落	三七一

## 第四節 福島村から福島町へ

1	区の構成	三七一
2	区長集会	三七九
3	区の組織と運営	三八五
一	福島町制の施行	三九四
二	福島町役場庁舎の新築	三九五
三	諸官署の設置	三九七
(一)	郡都としての福島町	三九七
(二)	郡役所の類焼と庁舎の新築	三九八
(三)	裁判所の設置とその沿革	四〇四
(四)	八沢牢屋と福島監獄署	四〇六
(五)	警察署の設置と警察制度の推移	四一〇
(六)	御料局木曾支庁の設置	四二五
1	御料林編入前の木曾林政の沿革	四二五
2	木曾支庁の福島町設置	四二七
(七)	収税部出張所から税務署へ	四三〇
(八)	電信局分局の設置	四三〇
(九)	蚕業予防事務所の開設	四三三
四	中等学校の招致	四三五

	(一) 木曾山林学校	四三五
	1 木曾山林学校の創立	四三五
	2 山林学校位置問題	四四四
	(二) 木曾中学校の創立	四五三
	(三) 町立福島実科女学校から県立木曾高等女学校へ	四五九
	御料林事件と御下賜金の下付	四七二
一	御料林事件の概要	四七二
	(一) 江戸時代における木曾谷住民の山林利用	四七二
	(二) 木曾谷山林の官民有区分と事件の発端	四七九
	(三) 事件の経過	四八八
二	事件の解決と御下賜金	五四〇
	(一) 御下賜金下付の決定	五四〇
	(二) 御下賜金の下付	五五一
	(三) 恩賜記念碑	五五七
	第六節 信飛鉄道運動誌	五七〇
一	明治時代の運動	五七〇
二	大正時代の運動	五七二
三	昭和時代の運動	五七五

## 第七節 森林鉄道問題と大同電力問題

## 一 森林鉄道問題

- (一) 森林鉄道起点地問題
- (二) 森林鉄道接続線敷設運動

## 二 大同電力問題

- (一) 町の公益問題
- (二) 郡の公益問題

## 第八節 郡役所の廃止

## 一 郡政の概要

- (一) 郡会と郡参事会
- (二) 郡の財政と事業
- (三) 郡勢の概況

## 二 郡役所の廃止

## 第九節 昭和二年の福島大火とその復興

## 一 大火の概況

## 二 復興対策

## 三 小学校校地位置問題

森林鉄道問題	五九四
森林鉄道起点地問題	五九四
森林鉄道接続線敷設運動	六〇二
大同電力問題	六一〇
町の公益問題	六一〇
郡の公益問題	六二八
郡政の概要	六四五
郡会と郡参事会	六四五
郡の財政と事業	六五三
郡勢の概況	六八七
郡役所の廃止	七〇〇
昭和二年の福島大火とその復興	七〇七
大火の概況	七〇七
復興対策	七〇八
小学校校地位置問題	七一〇

四	福島上水道の敷設	七二六
(一)	上水道事業の経過	七二六
1	町在来の飲用水	七二六
2	水利の不便と火災	七二九
3	上水道敷設の気運	七三〇
4	上水道敷設決定	七三一
(二)	上水道工事の概要	七四六
五	中島の開発	七五九
六	町の発展策と観光開発	七七三
(一)	観光の推移	七七三
(二)	御嶽繁栄策	七七四
(三)	駒ヶ岳登山道福島口の開削	七七七
(四)	木曾福島スキー場の開発	八〇〇
(五)	木曾駒山麓の観光開発	八一九
(六)	木曾踊と木曾踊保存会	八二七
第十節	自治制実施四十年と五十年記念式典	八三五
一	自治制実施四十年記念式典	八三五
二	自治制実施五十年記念式典	八四一



第十節 戦時下の町村政	八四九
一 町村政治の戦時体制化と部落常会	八四九
(一) 常 会	八四九
(二) 大政翼賛運動と翼賛選挙	八六九
二 地方事務所の設置	八七四
三 市制町村制の改正と市町村行政の強化策	八七五
四 勤勞奉仕と勤勞動員	八七八
五 報国木曾号の献納	八八三
第十一節 木曾福島町の誕生	八八八
第十三節 歴代町村長 助役 収入役 町村会議員名簿	九〇二
第十四節 町村費決算	九二四
一 福島町費決算	九二四
二 新開村費決算	九六二
第三章 木曾福島町編年史	九八五